

奥羽大学報



卒業証書・学位記授与式 答辞 三浦琢磨君

キャンパス
ライフ
1日体験

歯学部・薬学部 オープンキャンパス2013 Open Campus

未来を見つめ未来を拓く
新しい体験に触れてみよう

開催スケジュール

5 / 18 土 7 / 20 日 10 / 20 日
6 / 8 土 8 / 4 日 10 / 27 日



むこうえん 厚生施設無垢苑のご利用案内

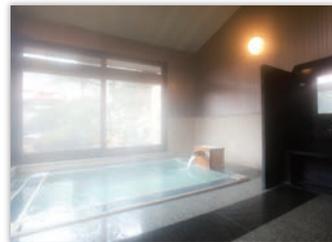
磐梯熱海温泉は、磐梯朝日国立公園の中でも有数な景勝の温泉地であり、郡山市の奥座敷と称されています。古来より近郷近在の人々はもとより遠く関東地区からも多くの温泉客をよぶ名湯の地です。

その中心に「無垢苑」があります。部屋数は70畳の大広間を含めた10室、浴室は露天風呂を含め3つ備えています。教職員や学生ばかりでなく、父兄の方にもご利用いただけ、心やすらぐ厚生施設として親しまれています。

【料金について】 ※消費税・入湯税含む (宿泊) 16:00~10:00 (日帰り) 10:00~17:00

区分	職員	学生	一般	摘要
宿泊	4,000円	3,000円	5,000円	1泊2食付(食事代1,200円含)
日帰り	1,000円	500円	1,500円	17:00まで

- 職員が同伴する場合は、一般は職員と同額になります。その際、職員は身分証明書を提示してください。
- 小学生は半額となります。
- 17:00以降は、宿泊料金となります。
- 予約を取り消す場合は、前日までに総務課へお申し出ください。当日の取り消しは、食事代実費負担をしていただく場合があります。(キャンセル時食事代実費は朝夕合わせて¥2,000)



【利用上の注意】

- 利用希望者は、総務課窓口にて希望日の1週間前までにお申し出ください。
- 宿泊者の食事・宴会は21:00までとし、外出は22:00までとする。

目次

平成24年度卒業証書・学位記授与式	2
平成24年度学位授与論文題名一覧／卒業記念贈呈式	4
謝恩会／オープンキャンパス	5
歯学部学外研修／三宅島訪問調査に参加して／ ライフサポート部のボランティア活動／歯科医師国家試験合格者発表／ 薬剤師国家試験合格者発表	6
宇佐見教授日本大学東北高等学校で「薬物乱用防止教育」／ 平成25年度高大連携講座	7
平成24年度外部公的資金獲得研究／平成24年度大学院特別セミナー／ 本学姉妹校 東北歯科専門学校歯科衛生士科校舎の竣工式／ 人事担当者との懇談会	8
父兄会	9
「災害時の身元確認活動に関する協定書」の調印／ 学食選手権に奥羽大学が参加／自衛隊東北方面隊オビオンリーダーを拝命して／ 附属病院	10
同窓会だより／同窓生のひろば	11
天野学長ご退任のあいさつ／退職によせて	12
人事	13

平成24年度卒業証書・学位記授与式

3月10日(日)午後1時より、本学記念講堂において平成24年度卒業証書・学位記授与式が挙行された。卒業証書および学位(歯学・薬学)を授与された者は、歯学部歯学科89名、薬学部薬学科73名、また、学位・博士(歯科)を授与された者は、大学院修了者5名及び博士論文提出者2名であった。

式典は多数の来賓ご臨席とご父兄及び教職員参列のもと厳粛に進行され、来賓を代表して学校法人晴川学舎影山英之理事長の祝辞と、天野義和学長告示があり、引き続き卒業生一同の代表として歯学部歯学科 三浦琢磨君から答辞が述べられた。

さらに、成績優秀者賞授与が行われた後、壇上において卒業生、大学院修了者及び博士論文提出者一人ひとりに卒業証書並びに学位記が授与され、閉式となった。

なお、各賞の受賞者は次のとおりである。

- ◆晴川賞
 - ◆優等賞
- | | |
|--------------|--------------|
| 歯学部歯学科 三浦 琢磨 | 歯学部歯学科 工藤香菜恵 |
| 薬学部薬学科 齋藤可奈子 | 薬学部薬学科 藪下 莉沙 |
| | 薬学部薬学科 千葉 明香 |



齋藤可奈子君



左から工藤香菜恵君、藪下莉沙君



千葉明香君

祝 辞

理事長 影山英之

卒業証書並びに学位記を手になさる皆さんと、御臨席なされましたご父母各位に心よりお祝いを申し上げます。本日はまことにめでとございます。

皆さんにとりまして今日までの長い間には多くのことを経験されたことと拝察します。それらの経験の記憶を紐解き話すとすれば、限られた時間では到底語り尽くせぬ程の思いがあるに違いありません。経験から何を学ぶかは人それぞれにより異なるかもしれませんが、経験したことは一つとして無駄なことはなく、必ずや皆さんの人生に豊かな実りを齎す良質な肥料となってくれることを念じております。

とりわけ志を持って臨み費やした本学で皆さんが「物事の本質を捉える大切さ」を学んでくれれば、私共にとってこれ以上の喜びはありません。何事も一朝一夕に出来ることばかりではありませんが、困難が全てでもありません。今自分の前になすべきことがあれば、できぬ心配をするよりはできたときの喜びを心に描いてやってみる事です。失敗は成功の母何度でも立ち直る努力を厭わなければ挫けることは恥にはなりません。

今日の仕事を明日に延ばさず、今日の仕事としてやり遂げる事です。一日一日実行し繰り返し積み重ね続けていく先に、新たな可能性が生まれ目標は必ず達成されます。これから後皆さんが常に良識と善意を備え、社会から望まれる立派な歯科医師又は立派な薬剤師となって、地域医療に貢献され世界平和に寄与してくれることを希っております。

千年に一度あるか無いかの大災害に遭遇し早二年の歳月が過ぎました。現在船は陸上に上げられ住宅は流され、街は壊滅的被害を受け原発は制御不能のまま復興の兆端も見えないと言われる中であって、本日の晴れの卒業式を迎えられた皆様程力強い存在はありません。

どうぞこの勢いを持ち続けられて限りなく前進し復興のシンボルになって下さい。本日はおめでとうございます。

告 辞

学長 天野義和

卒業おめでとうございます。また、ご父兄の皆様、ご子弟のご卒業おめでとうございます。

本日ここに、晴川学舎理事長影山英之先生を始めとする、ご来賓の方々のご父兄の方々をお迎えし、卒業式が執り行われますことを大学関係者一同は喜びに堪えません。

歯学部あるいは薬学部で学んで来た学生生活は長く感じたかも知れません。しかし、色々な事を経験し、思い出となった今日に至っては、過ぎてみれば短いと感じたことでしょう。この間、学習方法や友達関係で悩んだり、臨床実習における患者さん、或いは薬学実務実習先での実習指導に接して、種々な問題に直面し解決方法で悩んだ事もあると思います。更に東日本大震災に遭遇し、福島第一原発事故による風評の中、医療系大学の学生として、正しい判断の下で行動し、困難な状況下で今日までよく頑張ってくれました。そして今日、晴れの卒業式を迎えることができました。

この奥羽大学で過ごした学生時代の期間と卒業するにあたっては、勿論、本人の努力があつて今日に至った訳ですが、精神的にも、経済的にも、親御さんからの絶大な支援と周囲の友達の助けがあつたことを忘れてはいけません。自分一人で卒業できた訳ではありません。卒業生の皆さんは歯科医師として、或いは、薬剤師として社会に巣立って行くこととなりますが、実社会においても自分一人の力だけではなく周囲の人と上手くコミュニケーションをとり、協力して行くこととなります。

社会に出れば学生時代とは異なり、多くの人と接触することとなりますが、それらの人々と摩擦が生じるのを防ぐために、即ち、周囲の人と波風が立たないようにするために色々規制する規則・法律があり、これを守らなくてはなりません。幸いにして建学の精神「人間性豊かな医療人の育成」が皆さんの心神の中に育まれていて、社会の中に自然に溶け込んで行くものと確信しています。

政権交代、経済状況と世情がめまぐるしく変動し、先進医療技術が進展して行く中で高齢化の社会が進み、高齢社会における国民の健康維持が益々重要になってきました。歯科医師も薬剤師も国民の健康維持・向上を進展させるにはなくてはならない職業です。

教育機関や研究所或いは病院、個人開業のいずれの場所に勤務しても、最初に勤務した場所での一年目の生活習慣・態度がその人の一生の生き方の基本となると言われてます。臨床実習・実務実習で今迄学んで来た高度な専門知識と技術を基に積極的に取り組み、歯科医師として、或いは、薬剤師として国民の健康維持・健康増進に貢献をし、患者さんに対しては安心され、信頼される歯科医師・薬剤師となって活躍してください。

皆さんが歯科医師として、薬剤師として活躍されることが、特に東北の地域における災害に対する医療面での復興に大きく貢献することになります。

これからは更なる専門知識と技術に研鑽を重ね、各自の能力を生かし、それぞれの職場で奥羽大学の卒業生の誇らしい意気を示してください。

最後に皆様のご健康とご活躍をお祈りし、告辞とします。

答 辞

卒業生代表 三浦琢磨

春を告げる風が街を駆け抜け、開成山の美しい桜の季節がまたここ郡山にも巡ってこようとしています。

本日は、私達のために、このような盛大な卒業式を催して頂き、卒業生一同感激を新たにしております。ここに僭越ではございますが卒業生を代表して一言御礼申し上げます。

理事長先生、学長先生をはじめ、ご来賓の先生方、関係各位の皆様のご臨席ならびに激励のお言葉を賜り、誠にありがとうございます。私たちは今日を持ちまして、長いようで短かった学生生活に終止符を打つことになりました。思い返すと、桜の舞う4月、私達は期待と不安を胸に本学に入学いたしました。以来、医療という新しい分野を学ぶ喜びを感じながらも、日々進歩を続けるこの学問を学んでいく過程で多くの困難に直面する事もありました。

しかし、目標を共にする友人達や、時に厳しく時に優しく私達を導いて下さる先生方のおかげで大学生活を乗り越える事が出来ました。また、私達をいつも温かく見守り続けてくれた家族にも心から感謝しています。多くの方々のお力添えのおかげで私達は今日という日を迎えることができました。

私達はこれからそれぞれの道へと進みますが、奥羽大学で学び培った多くの知識や経験を、今度は社会に対して十分に還元出来るよう、日々切磋琢磨し、今まで支えて下さった多くの皆様や日本の未来のために、もてる力を惜しむことなくその発展に貢献していきたいと思ひます。

初心を忘れることなく、確かな技術や知識はもちろん、人を思いやり、慈しむことの出来る人間性豊かな歯科医師、薬剤師を目指し、尚一層の努力を重ねる所存でございます。

芽吹き始めた新緑が凛と背を伸ばして光を集めるように、私達も胸を張って果敢に、時に冷静・柔軟な姿勢で己の道を信じ、突き進んで行きたいと思ひます。

本日までご指導下さいました諸先生方や大学関係者の皆様に、厚く御礼申し上げますと共に今後も変わらぬご指導ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

最後となりましたが、諸先生方やご来賓の皆様の一層のご健勝と、奥羽大学のますますのご発展を心より祈念いたしまして、答辞とさせていただきます。

平成24年度学位授与論文題名一覧

Table with 3 columns: 学位取得者, 専攻・講座, 論文題名. Lists graduates and their thesis titles across various departments like Oral Hygiene, Pediatric Dentistry, and Biomechanics.

卒業記念贈呈式

3月8日(金)午後1時より学長室で平成24年度卒業記念贈呈式が行われた。

歯学部代表の三浦琢磨君、薬学部代表の星真奈美君から卒業記念として各学部から計20万円が贈呈された。

学長より謝辞として、「奥羽大学のOB・OGとしての誇りを持ち、人間性豊かな歯科医師・薬剤師として地域医療に貢献してほしい」とのお言葉をいただいた。



謝恩会

歯学部

3月10日(日)ホテルハマツにて卒業準備委員会主催の謝恩会が開催された。

会では、大野歯学部長、高橋病院長、江良父兄会会長より卒業生に激励の言葉が贈られた。

卒業生それぞれが保護者や教職員へ感謝の言葉や思い出を語る姿が見られた。



薬学部

3月10日(日)ビューホテルアネックスにて、薬学部卒業準備委員会主催の謝恩会が開催された。衛藤薬学部長より卒業生に励ましの言葉が贈られ、鏡開きとともに謝恩会が始まった。教職員への感謝の言葉やそれぞれの思い出を語り合いながら、名残を惜しむ姿が見られた。



オープンキャンパス

3月23日(土)、スピードスケート・ショートトラック元オリンピック代表選手の勅使川原 郁恵さんをお招きし、オープンキャンパス特別講演会を開催した。今回は、「夢をかなえるために」と題し、歯科医師・薬剤師を目指そうとする若い人たちに、夢を持つことの大切さとその夢をかなえるための心構えについてお話いただいた。

そのほか、各学部長による歯学部・薬学部紹介、キャンパス見学、ランチ体験を行った。

なお、平成25年度のオープンキャンパス開催予定は以下のとおりである。

Table with 2 columns: 日時, メインテーマ. Lists dates and themes for the Open Campus events, such as 'Campus viewing' and 'Dentist/Pharmacist work experience'.



歯学部学外研修

3月4日(月)・11日(月)の両日、本学臨床実習生8名が参加し太陽の国(福島県西郷村)の特別養護老人ホーム及び障害者支援施設において学外研修が実施された。実習内容は入所者への食事介助、口腔ケア、離床介助等多岐にわたった。実習生からは大学病院では体験できない貴重な経験が得られて良かった、との声が聞かれた。施設の担当者からも、本学の実習生は誠実に入所者に接しており、好感が持てたとの評価が得られた。



三宅島訪問調査に参加して

アカデミア・コンソーシアムふくしまが主催し、3月5日(火)～9日(土)の日程で行われた三宅島の訪問調査に、奥羽大学薬学部より3名が参加した。この企画は、大学間連携共同教育推進事業の一環で「福島復興学」を学ぶ目的で行われたものである。福島県内の大学・短大・専門学校の学生25名での訪問調査となった。

三宅島は2000年の噴火で火山ガスが放出し、全島避難を余儀なくされた。避難解除まで4年半の歳月がかかり、解除から8年が過ぎた今でも人口は災害前の7割程度に留まっている。子供や若い人々が帰島しないことによる高齢化も問題となっており、戻ってきたとはいえ以前とまったく同じ暮らしはできていない。

現在でも毎日のように火山ガスを知らせる警報が鳴り響き、いつ終わるかも分からない災害と向き合う方々の話を伺うことは、私にとって良い経験となった。

その中でも特に心に残ったのが、島の人々が「絆」を大事にして復興してきたということである。私の住む郡山は普通の生活をしているが、県内には未だに放射線の除染や復興が進まず自宅に戻れない地域がある。しかし「絆」を大事にして前に進ん

で行けば、素敵な未来が拓けると信じている。(薬学部3年 伊東桃子)



左から薬学部2年神山祐樹君、薬学部3年伊東桃子君(執筆者)薬学部3年大川原ひとみ君

ライフサポート部のボランティア活動

本学ライフサポート部は、昨年12月15日(土)、大学近くの仮設住宅で生活されている東日本大震災の避難者の方々を対象に、JAXA(宇宙航空研究開発機構)のスタッフとともに宇宙服の試着や液体窒素による実験などのボランティア活動を行った。参加された皆さんは、ひととき、日常のつらさを忘れて楽しんだようであった。



歯科医師国家試験合格者発表

2月2日(土)・3日(日)の両日行われた、平成24年度第106回歯科医師国家試験の発表が3月19日(火)にあり、本学歯学部の受験者は新卒89名、合格者は53名であった。

薬剤師国家試験合格者発表

2月2日(土)・3日(日)の両日行われた、第98回薬剤師国家試験の発表が3月29日(金)にあった。本学薬学部の受験総数は93名(新卒73名)で、合格者は48名(新卒36名)であった。

宇佐見教授日本大学東北高等学校で「薬物乱用防止教育」

1月30日(水)、本学薬学部の宇佐見則行教授が日本大学東北高等学校を訪れ、「薬物乱用防止教育」というテーマで3年生約100名を対象に授業を行い、医薬品の適正な使用について共に考えた。

この講演は、高大連携講座の一環である。当該本年度の実施状況は以下のとおりであった。

Table with 3 columns: 月日, 講師名, 実施校. Rows include dates like 7月23日(火) and names like 清野和夫教授.



平成25年度高大連携講座

本学は、社会に開かれた大学として教育・研究の情報発信に鋭意取り組んでいるが、その一環として平成20年度から「高大連携講座」を実施している。

この度、その平成25年度プログラムが以下のように決定した。高校側より依頼のあった講座の担当教員が、当該高校に出向き講義することとなる。

歯学部

Table with 2 columns: 演題, 講師名. Topics include '噛むことは脳を活性化し、運動能力を増す' and '息さわやか口臭の正体とその予防'.

薬学部

Table with 2 columns: 演題, 講師名. Topics include '糖尿病にはどんなものがあるの?' and '脂肪細胞のはたらき'.

平成24年度外部公的資金獲得研究

独立行政法人科学技術振興機構

Table with 6 columns: プログラム名, 学部, 職名, 氏名, 交付額, 研究課題名. Rows include 復興促進, 研究成果最適展開支援, 地域結集型研究開発.

平成24年度大学院特別セミナー

Table with 5 columns: 専攻科, 講師名, 所属機関, 職名, セミナー演題. Rows include 口腔感染症学, 口腔病理学, 小児歯科学, 口腔機能回復学, 口腔生理・生化学.

本学姉妹校 東北歯科専門学校歯科衛生士科校舎の竣工式

2月26日(火)東日本大震災の被害にあった本学姉妹校、東北歯科専門学校歯科衛生士科の新校舎が完成し、その竣工式が影山英之理事長、福井和徳東北歯科専門学校長、大野敬歯学部長の出席も得て行われた。



人事担当者との懇談会

昨年12月5日(水)・6日(木)の2日間、薬学部5年生を対象とした就職セミナーを本学メモリーで開催した。病院、保険薬局など106社の参加があり、本学学生と面談を行った。

懇談が始まると会場は活気に溢れ、熱心に人事担当者との面談をする姿が見られた。



父兄会

平成25年度歯学部・薬学部父兄会役員ならびに行事予定・予算についての主な内容は下記のとおりである。

歯学部

「平成25年度役員」

歯学部父兄会

Table of officers for the Faculty of Dentistry: 会長 月田 秀夫, 副会長 狩野 裕史, 監査役 中島 義真.

「主な行事予定」

Table of events for the Faculty of Dentistry: 定時総会 (平成25年 4月 4日(木) to 平成26年 3月10日(月)), 共済基金委員会 (平成25年 5月11日(土) to 平成26年 3月10日(月)), 幹事会 (平成25年 5月11日(土) to 平成26年 3月10日(月)).

地域会(全体会・個別懇談会・懇親会)

Table of regional meetings: 25年6月23日(日) 関東 大森東急イン, 25年6月30日(日) 九州 福岡ガーデンパレス, 25年7月 7日(日) 近畿 大阪ガーデンパレス.

「予 算」

Table of budget for the Faculty of Dentistry: (収入の部) 前年度繰越金 11,737,345, 入会金 270,000, 会費 8,500,000, 地域会参加費 500,000, 雑収入 3,000, 合計 21,010,345.

Table of budget for the Faculty of Dentistry: (支出の部) 通信費 300,000, 印刷費 100,000, 会議費 1,000,000, 消耗品費 25,000, 旅費交通費 1,500,000, 慶弔費 150,000, 雑費 10,000, 地域会開催費 2,880,000, 課外活動援助費 3,390,000, 学生福利厚生費 1,250,000, 奥羽大学歯学会協賛費 100,000, 学習活動助成費 2,500,000, 予備費 7,805,345, 合計 21,010,345.

薬学部

「平成25年度役員」

薬学部父兄会

Table of officers for the Faculty of Pharmacy: 会長 小林 啓一, 副会長 續橋 隆夫, 監査役 志岐 順一.

「主な行事予定」

Table of events for the Faculty of Pharmacy: 定時総会 (平成25年 4月 4日(木) to 平成26年 3月10日(月)), 幹事会 (平成25年 5月24日(金) to 平成26年 3月10日(月)), 保護者懇談会 (平成25年 5月24日(金) to 平成25年10月19日(土)).

「予 算」

Table of budget for the Faculty of Pharmacy: (収入の部) 前年度繰越金 26,136,314, 入会金 1,200,000, 会費 11,860,000, 雑収入 10,000, 合計 39,206,314.

Table of budget for the Faculty of Pharmacy: (支出の部) 通信費 200,000, 印刷費 100,000, 会議費 700,000, 消耗品費 50,000, 旅費交通費 400,000, 雑費 150,000, 課外活動援助費 1,600,000, 学生福利厚生費 11,520,000, 予備費 24,486,314, 合計 39,206,314.

「災害時の身元確認活動に関する協定書」の調印

昨年2月に奥羽大学学長室にて調印された、奥羽大学歯学部及び茨城県歯科医師会並びに奥羽大学歯学部茨城県同窓会の三者間における「災害時の身元確認活動に関する協定書」の本年度の調印式が、2月14日(木)、茨城県歯科医師会館にて行われた。

大野敬歯学部長、森永和男茨城県歯科医師会長、渡辺義宏茨城県同窓会長が出席し、昨年に引き続き協定を継続すること、人心を新たに改善点を見出してゆくことが確認された。



学食選手権に奥羽大学が参加

福島中央テレビ主催で福島再興祭が3月24日(日)ビッグハレットで行われた。この再興祭りの企画の一つであるTANITA CUP2013ふくしまヘルシー学食選手権に本学学食メモリーが参加した。

この選手権は、ヘルシーメニューの食堂で知られるタニタの方に学食を体験していただくことによりアドバイスを受けタニタ式の健康を学ぶ事を目的としている。

惜しくも、初代ヘルシー学食王座に輝くことはできなかったが本学の学食が多くの方に広く認められて良い機会となった。

自衛隊東北方面隊オピニオンリーダーを拝命して



薬学部 教授

大島 光宏

平成24年4月から、歯学部・瀬川准教授の後任として、標記オピニオンリーダーを拝命しました。オピニオンリーダー制

度とは、防衛省が行う広報活動の一環です。市民一般に接触の機会が多い各分野の方々に、安全保障および防衛施策等に対する理解を深めていただき、オピニオンリーダーとして市民各層への波及効果と世論への反映を期待するとともに、市民各層の自衛隊に対する意見を代弁していただき、隊務への反映を期待する目的を持って、平成2年に設立された制度です。東日本大震災における自衛隊の活躍には刮目すべきものがありましたが、私も各種研修への参加を通じて、自衛隊の活動が隊員各位の強い責任感と、素晴らしいネットワークシステムに支えられていることを実感しました。自衛隊に興味をお持ちの方、ご意見をお持ちの方は、大島までお知らせいただければ幸いです。

附属病院

指導歯科医資質向上講習会

昨年12月1日(土)に奥羽大学歯学部附属病院において平成24年度指導歯科医資質向上講習会が開催された。

スーパーバイザーとして日本歯科大学新潟病院准教授の水谷太尊先生をお招きし、歯科医学教育モデル・コア・カリキュラムの教育内容ガイドラインの改訂に伴い、歯科医師臨床研修と関りの深い「医科歯科連携」、「高齢化への対応」について、指導歯科医として研修医への指導の一助となるようにわかりやすく御講演頂いた。

引き続き21名の受講者(指導歯科医)に対しワークショップ形式で講習会が行われた。受講者は「地域医療連携」、「在宅歯科診療」について積極的にグループ討議、全体討議に参加し、大変実りの多い講習会となった。



第8・9回 医療安全管理研修会

昨年11月29日(木)平成24年度第8回医療安全講習会が開催された。講師は歯学部心理学担当、臨床心理士の鈴木敏城講師で「誤解を防ぐコミュニケーションのために」と題して対人関係や説得法の基本について講演があった。

さらに2月14日(木)第9回医療安全講習会が開催され、医薬品の安全使用について薬局長の東海林徹教授、医療事故防止について医療安全管理者の釜田朗講師よりそれぞれ講演があった。

同窓会だより



こんにちは、茨城県同窓会支部長の6期卒の渡辺です。学生時代はスキー部に所属していました。卒業後大学の矯正科に在籍しておりました。大学を退職して現在の茨城県に開業して以来、スキーから遠ざかっておりましたが、昨年からは猪苗代に再度スキーをやりに通い始めたこの頃です。

現在茨城県同窓会には、夫婦会員を含め1名が活動しております。会員の中には県歯役員や、支部長として活躍中の方もおります。平成23年の東日本大震災による茨城県同窓会の人的被害は有りませんが、診療所や家屋に大きな被害を受けた方もおりました。その際全国同窓会会員の先生方の熱いご援助、お見舞いに対し茨城県支部を代表して御礼申し上げます。

昨年茨城県同窓会では、震災による地域住民の為、平成24年2月に茨城県歯科医師会と奥羽大学歯学部との防災協定締結を受けまして、災害時の身元確認活動に関する協定調印式を郡山の母校にて行いました。その後、秋の大学祭当日歯学部の非常勤講師の花岡洋一先生(東京歯科大学歯学部歯学科法歯学講座准教授)による学術講演会には、同窓会会員、在学生、教員、歯科医師、医療関係者、海上保安庁多くの方に御参加戴きました。

平成25年2月14日(木)茨城県歯科医師会館において、奥羽大学歯学部歯学部長大野敬先生と、茨城県歯科医師会長森永和男先生、奥羽大学歯学部茨城県同窓会との間において災害時の身元確認活動に関する協定調印式が行われました。これは毎年行うことにより常に災害に対して、気持ちを新たに引き締めるため、年度ごとの更新といたしました。

同日、茨城県県庁において橋本昌茨城県知事を表敬訪問、茨城県警察本部において、荻野徹本部長 刑事部長小野善弘鑑識課長原田哲也氏を表敬訪問、茨城海上保安部において、新倉一馬茨城海上保安部次長を表敬訪問致しました。最後に最近得た情報を付記いたします。

「歯から身元」鑑定力強化、歯科医師国家試験に出題へ

読売新聞 平成24年11月21日(水)配信

東日本大震災で注目された歯科医による遺体の身元確認活動を強化する動きが進んでいる。厚生労働省は2014年の歯科医師国家試験から、身元確認に関する問題を出題対象にする方針を固めた。来年4月には身元確認への歯科医の関与を明文化した死因・身元調査法も施行されるため、日本歯科医師会は、年1回の専門研修の回数を増やし、全国的に実施する。歯科医による鑑定(歯牙鑑定)は、遺体の歯科所見を専用の用紙に記録し、生前のカルテなどと照合する作業。形状や治療痕などを1本ずつ、写真やレントゲンも用いて比較すれば、高い精度で身元を特定できる。東日本大震災では、今年8月末までに身元が特定された1万5576人(全遺体の98.6%)のうち、1割近い1213人は歯牙鑑定が決め手となった。歯牙鑑定などを行わず、遺族による外見での確認に頼ったケースでは、少なくとも13件の取り違えが判明している。

(茨城県支部 渡辺 義宏)

同窓生のひろば



上田 雅子(歯学部21期生)

この時期福岡の大宰府天満宮では右の飛梅、左の皇后梅という梅の花が咲き始めます。

この学報がお手元に届く頃には桜も綺麗な時期なのではないでしょうか。

大学入学前に九州で桜を観ながら東京に一度立ち寄りました。そこでまた綺麗な桜を観て入学式をむかえ、今度は福島で桜を観ることができました。桜前線とともに、福島に引越したのを覚えております。卒業して、日々の慌しさをいいわけにしていたら瞬間に月日は過ぎ、気がつく卒業して十数年が過ぎていました。この間に何が出来るようになって何が進歩して頑張っているのかそろそろ一度思い返してみたい時期になっております。そんなときに、この

同窓生のひろばのお話を頂き、ほんの800字の文章の中ですっかり忘れていた学生の頃や、日々の行動を思い起こしています。今の歯科の世界で何かと辛抱もあり、いつまで続くのかしら、どうやって切り開いていこうかしら頭の中は「??」でいっぱいですが、私自身、小さな診療所勤務で地域の方々に助けられ沢山の先輩方にご助言をいただき、なんとなく楽しくなんとなく頑張って仕事をしております。毎年春になるとふっと、桜前線を思い出し福島の桜も思い浮かべ、またさらに何年も過ぎていくことと思います。

最後に、未曾有の大災害をもたらしたあの3月11日より2年、災害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

菅野 有美(薬学部2期生)

同窓生の皆様、お久しぶりです。時間が経つのは早いもので、奥羽大学薬学部を卒業して1年が過ぎました。私たち2期生は薬学部が6年制課程に移行して初めての卒業生となります。

私はこの1年、5年生の時に実務実習させて頂いた病院で薬剤師として仕事をしてきました。仕事をするに当たり、6年制課程からカリキュラムに組み込まれた病院・調剤薬局で行う各11週ずつの実務実習には大きな意味があったと実感しております。まず何よりも、11週に亘る長期実習により薬剤師の主な業務となる調剤業務を経験していたことで、薬剤師が普段行っている仕事の流れをスムーズに理解できました。そして、病棟(服薬指導)業務においても患者さんとのコミュニケーションの取り方、指導する際のポイント把握など実習で教えて頂いたことを振り返り、思い出しながら行うことができています。

また、私が勤務するこの郡山には6年間一緒に苦楽を共にした多くの仲間が地域医療を支えようと病院や調剤薬局などの医療機関で仕事に励んでいます。こうした仲間とは今も交流があり、現在の状況や仕事について情報交換をしています。会うことで励まし合ったり刺激を受けたりと、良き理解者・良きライバルとしてこれからも私にはなくてはならない大切な存在です。

最後に私事ではありますが、4月からは環境を変え、福島県職員として働くこととなりました。まだまだ震災の影響を色濃く残す福島県と県民の皆様のお力になれるよう、微力ではありますが努めて参りたいと思います。

天野学長ご退任のあいさつ



学長 天野 義和

この度、学長任期の3月31日をもって退任することになりました。平成2年4月にこの奥羽大学歯科保存学第二講座主任教授として赴任し、学生の教育を第一に診療、研究として従事している内に22年間に過ぎました。アバウトな私ですが、この間、病院長、歯学部部長そして、学長としてやって来られたのも教職員のみなさんのご協力の賜物と感謝しております。

建学の精神「人間性豊かな医療人の育成」の下、皆さんがこれからも教職員一丸となって協力され、より良い大学づくりに励まれ、今後、さらに奥羽大学の名声を上げられますようお祈りいたします。

皆さんに頂きましたご協力とご理解に改めて感謝し御礼を申し上げ、退任の挨拶といたします。

退職によせて



歯学部
歯科保存学講座
教授 横瀬 敏志

平成17年4月から歯学部の歯科保存学講座の教授を拝命して早いもので8年の歳月が過ぎようとしています。このたび3月31日を持って退職させていただくことになりました。就任当時は教育、臨床、研究と教授としての仕事に戸惑いながらも、先輩の教授の先生方や事務の皆さんに支えられながら、頑張ることができました。本当にありがとうございました。歯学部は今は大変な時期ですが、奥羽大学の建学の精神である「人間性豊かな医療人の育成」を重視して教育を突き進めれば必ずやこの難関を乗り越えられると確信しています。これからもどうか皆さん頑張ってください。奥羽大学の発展を心からお祈りしています。本当にありがとうございました。

人事

〈退職〉

天野 義和	学 長	3月31日付
栗城 源一	口腔機能分子生物学 教授	3月31日付
深井 直実	生体構造学 教授	3月31日付
横瀬 敏志	歯科保存学 教授	3月31日付
多田 浩之	口腔病理解剖学 准教授	3月31日付
影山 勝保	歯科補綴学 准教授	3月31日付
康 聡	成長発育歯学 助教	3月31日付
今田 玲美	成長発育歯学 助教	3月31日付
廣瀬 将邦	成長発育歯学 助教	3月31日付
安達 理紗	成長発育歯学 助手	3月31日付
玉井 一樹	歯科補綴学 助手	3月31日付
鈴木 厚子	臨 床 講師	3月31日付
五月女 稔	臨 床 講師	3月31日付
田中 奈美	臨 床 講師	3月31日付
馬庭 暁人	臨 床 講師	3月31日付
渡辺 正博	臨 床 講師	3月31日付
江夏 藍	臨 床 助手	3月31日付
狩野 隆広	臨 床 助手	3月31日付
小松 泰典	臨 床 助手	3月31日付
佐藤 淳	臨 床 助手	3月31日付
玉木 直哉	臨 床 助手	3月31日付
塚原 正也	臨 床 助手	3月31日付
長嶺 学	臨 床 助手	3月31日付
長嶺 海保	臨 床 助手	3月31日付
西本 秀平	臨 床 助手	3月31日付
丹羽 正樹	臨 床 助手	3月31日付
八木下 健	臨 床 助手	3月31日付
服部 宗太郎	臨 床 助手	3月31日付
多田 均	薬 学 部 教授	3月31日付
戸上 紘平	薬 学 部 助教	3月31日付
伊藤 喜章	図書館事務部 図書館長	3月31日付
水口 かおり	総 務 部 事務職員	3月31日付
青木 志帆	看 護 部 歯科衛生士	3月31日付



歯学部
生体構造学
教授 深井 直実

このたび5年の任期満了ということで退職いたします。日本の私立歯科大学という慣れぬ環境の中、また解剖学という初めて携わる教育をなんとかやり終える事ができたのも、皆様方の公私にわたるご支援の賜物と考えております。ご厚情に感謝いたします。



歯学部
口腔機能分子生物学
教授 栗城 源一

1972年4月、本学(当時は東北歯科大学)開学時に進学課程生物学教室の助手として赴任した時、迎えた血気盛んな182名の新入生と共に大きな夢に向かって精進することを決意したことが懐かしく思い出されます。以来41年間、幾多の試練をその都度越えながら、学生とともに泣き笑い、また汗してきたことを誇りに思います。歯学部のみならず、文学部、薬学部の学生とも触れ合うことができたのは教養系教員の役得であったでしょう。今は多くの関係者の温かなご支援とご理解のもと、大過なく勤めを終える喜びを感じます。今はまだ震災被災という大試練の中ですが、本学がこれまで以上に必ずや大躍進されることを心より祈念いたします。

奥羽大学報137号(通算No.262)平成25年3月31日発行
発行 奥 羽 大 学
学 報 編 集 委 員 会
委員長 天 野 義 和

☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372
ホームページアドレス http://www.ohu-u.ac.jp
メールアドレス info@ohu-u.ac.jp